

会議の名称	第1回勝浦市地方創生総合戦略策定推進会議
開催日時	平成29年8月1日(火) 13時30分から
開催場所	勝浦市役所 4階 大会議室
会議の議題	1. 平成28年度 地方創生事業活動報告及び事業検証 2. 平成29年度 地方創生事業の説明 3. その他
会議の概要	<p><b>議事1及び2については一括議題</b></p> <p><b>会議資料</b>  ① 勝浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進策定体制  ② 勝浦市地方創生総合戦略策定推進会議設置要綱  その他 勝浦市 人口ビジョン(概要版)/まち・ひと・しごと創生総合戦略</p> <p><b>概要</b>  年度1回目及び新委員の参加もあり、庁内における地方創生推進体制及び2060年までの人口推計された人口減少に対応するための、地方創生総合戦略事業について説明。  その上で、今回戦略事業に掲げられた、各事業の実施状況を本会議に報告し、評価検証が行われる旨説明。</p> <p><b>会議資料</b>  ③ 勝浦市 まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート</p> <p><b>概要</b>  議長より評価については、事務局からの説明を受けたのち、疑義等がなければ事務局案を委員意見の評価としたい旨、各委員に確認了承された。  その後、事務局から地方創生総合戦略基本目標ごとに、平成28年度に行った事業及び自己評価について説明を行った。</p> <p><b>質問事項</b>  上村委員：No.223若者定住の推進・No.224番住環境の整備の補助制度における若者等定住促進奨励金及び空き家リフォーム補助金の上限額はいくらか。   事務局：若者等定住促進奨励金については、若者夫婦(満40歳以下)が市内に移住し、新築又は増改築を行い3年以上定住するものに対して60万円、民間賃貸住宅に居住したものに20万円。空き家リフォーム補助金については、50万。   大鐘委員：若者等定住促進奨励金については、他と比べて多いのか少ないのか。   事務局：近隣と比べても遜色ないと思われる。</p> <p>鈴木委員：No.111新規就農者への支援及び環境整備の取組みにある農業経営の安定化や近代化とあるが、市のほ場整備はどこまで進んでいるのか。No.213漁村・農村観光の促進の説明にあった大森地区の取組みはどのようなことを行っているのか。   事務局：土地改良区では水田などの生産性向上と新たな営農作物の導入による発展のため上野・総野地区内で4区でほ場整備を行っている。  No.213漁村・農村観光の促進にかかる大森区の活動については、「健康と地区の交流人口の拡大」を目指し活動を行っており、詳細については大森区内の山道を散策道として地区住民自ら整備することでの健康と、散策道を訪れる方たちの交流を目指して活動を行っている。</p> <p>鈴木委員：武道大学の学生が1学年で500人いるなか、No.113地(知)の拠点大学による地方創生の推進に学生が求める就職先がないとありますが、武道大学の学生の就職先はどこを希望しているのか。</p>

武道大学の学生は、高齢者の健康教室に参加しており、非常に好評と聞いている。学生が市に残ってもらえるスポーツジムの誘致し、学生が今後も市内に残れる活動を行う考えはあるのか。

事務局：市では、旧行川アイランドにおいて民間企業が大型宿泊施設の整備を計画しており、今後具体的に事業が進んでいくことで100名からの雇用が期待される。学生と学ばれている事とは異なるが、これから大学側と協議していきたい。

スポーツジムについては、市内に既存の受け皿があればスムーズかと思うが、人口規模からしても誘致に対して困難な部分が多いと思われる。しかしながら、市民の健康増進に結びつくことにもなるので、スポーツジムなどの企業誘致も行っていく。

清野委員：学生が希望する就職先は、8割が教員を志望しているが、教員になれるものは卒業生を見ても1割程度が教員をしている。他としては、警察官、消防官、自衛官などの公務員が1割から2割となっている。他の7割は地元戻り就職するか、東京で就職するなどになっている。確かに数が多い訳ではないが、勝浦に残って就職したいという希望もあるので、市と協力していきたい。

酒井委員：No.312からの子どもを産み育てる支援として、若い職員が近年増えているが実際に産前産後の休暇、育児休暇と男女共同参画を踏まえて男性の育児休暇の希望は出ているのか。また出ているならば割合はいくつか。

事務局：把握しているところでは、男性職員の育児休暇を取ったものはいない。現在男女共同参画計画の見直し策定を行っていることから、男性の育児休暇が図れるような取組みの検討をする。

酒井委員：今度策定する男女共同参画計画で、男性の育児休暇取得について検討を希望する。

奥山委員：働き方改革の中で1億総活躍プランというのも提言されている。その中でハローワークとシルバー人材と協力して働く人を結びつけるという事になっている。生涯現役支援窓口をハローワークでは設置し、65以上を対象に支援している。このような流れの中でこのメンバーにシルバー人材センターの参画がなされていないのはなぜか。

事務局：戦略策定時に国の手引き等では、産官学金労言から構成されたもので策定するとあり、市民代表としての区長代表、女性団体、漁協農協、国際武道大学などの多様な方々が参画している。、労働者の団体という括りは大きいこともあり、ハローワークに参画して頂いた経緯である。

上村委員：No.314子どもを産み、育てる支援にかかる子どもによるまちづくり提案事業は、小学校からの提案はあったとあるが、なぜ中学校からの提案はなかったのか。

事務局：なぜ中学校からの提出がなかったのかについては把握できていないが、小学校などでは、総合の時間などを活用して子どもによるまちづくり提案事業を行っているの、中学校では総合の時間を他の活動に充てていると思われる。

#### 会議資料

④ 平成28年度事業 地方創生加速化交付金事業

⑤ 平成29年度事業 地方創生推進交付金事業

#### 概要

昨年度事業説明を行った国からの交付金事業である地方創生加速化交付金事業についての実績を説明。今年度行う地方創生推進交付金について説明。

議長から各委員に対し、質問内容を確認した上で事務局評価を、委員の評価とすることの確認があり、各委員の意義がない旨確認と了承がされた。

これにより第1回勝浦市地方創生総合戦略策定推進会議は終了した。

資料	<p>会議次第</p> <p>委員名簿</p> <p>資料1 勝浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進策定体制</p> <p>資料2 勝浦市地方創生総合戦略策定推進会議設置要綱</p> <p>資料3 勝浦市 まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート</p> <p>資料4 平成28年度事業 地方創生加速化交付金事業</p> <p>資料5 平成29年度事業 地方創生推進交付金事業</p> <p>その他 勝浦市 人口ビジョン(概要版)/まち・ひと・しごと創生総合戦略</p>
----	---